



東村山稲門会 ホームページ開設

平成23年6月より 東村山稲門会の ホームページを開設する運びとなりました。
実は 東村山稲門会は 過去にもホームページを開設しておりましたが、長らく閉鎖されて居りましたので、正確には再開と言う事に成ります。

東村山稲門会も発足して 今年で15年になります。この間、会員も増え、徐々に活動を増やし、充実させて参りました。近年とみに他の稲門会との間で、お互いの活動の交流も増えて参りました。私共が他の稲門会のホームページの情報を拝見し、色々と参考にさせて頂いておりますので、東村山稲門会も、日々の活動の様子を 全国の稲門会へ発信して、より交流を深めて行きたい事と、東村山稲門会会員の情報交換にも役立てたいと思い、ホームページを再開するに至りました。

取敢えず 最初は基本的事項のみでスタート致します。徐々に内容の充実を計りたいと考えて居ります。
スタート時の主な内容は

- *組織の紹介 役員リスト
- *東村山稲門会ニュース
- *定例行事の紹介 (直近のスケジュール)
- *10同好会の紹介
- *入会案内
- *早稲田大学関連機関、他稲門会の ホームページ リンク情報

会員の皆様には、私共のホームページを 情報交換の場として、充分に活用して、役立てて頂く様 宜しくお願い致します。

東村山稲門会ホームページ アドレス

<http://members3.jcom.home.ne.jp/toumonkai/>

(福田 (昇) 記)



○ 平成23年7月 定例役員会

日 時： 平成23年7月9日 (土) 13:00～15:30
場 所： ふるさと歴史館・研修室 (17時から誕生会があります)

○ 7月、8月合同お誕生会 (担当幹事 滝川桜子 ☎ 394-8187)

日 時： 7月9日 (土) 17:00～19:00
場 所： 割烹 「丸藤」 久米川駅南口から徒歩1分
電話 042-395-5646
会 費： 3,000円

該当の方々にはぜひこの合同お誕生会にご参加下さい。お待ちしております。(特に8月誕生月の方はこの7月9日に実施ですのでお間違えのないようご注意下さい。)

尚、誕生月ではないが誕生月の方と一緒に祝いして下さる方のご参加も歓迎致します。また誕生月該当者の方で、下記にお名前のない場合は担当幹事迄ご連絡下さい。

☆ 7月お誕生の方々 (敬称略)

小野浩一、川合宏幸、北野二郎、紅松 喬、小出孝子、幸田瑞雄、高橋一彦、藤田洋司、高部素行、高鷲 近、田邊正史、富塚哲夫、長島文夫、鍋島高明、松永常尚、三宅良太、横尾正宏 (17名)

☆ 8月お誕生の方々

小林 傳、高柳忠正、辰巳伸司、丹野 寛、南湖修一、野田 数、林 基樹、番場吉次、福田昇七、山下邦康、野中昭夫、阿部 茂、市川久美子、大塚美穂 (14名)

○ 新入会員

藤本継男（つぐお）さん（再入会）S22理工 誕生月 2月
〒189-0022 東村山市野口町3-6-9 電話 391-6768

○ 退 会

朝木吾朗さん 諏訪町（ご逝去のため）

○ 住所変更

鈴木国夫さん
新住所 〒289-1115 千葉県八街市八街ほ761-3
電話 043-444-5344 （転居のため）

○ 他稲門会等の関係

＊立川稲酔会

5月21日（土） 大隈侯墓参和各稲門会との懇親会の会（神楽坂）小亀会長出席

＊国分寺稲門会総会

6月 5日（日） 17時～ 国分寺Lサロン 小亀会長・當間副会長出席

＊武蔵野稲門会総会

6月11日（土） 16時～ 吉祥寺東急イン 三宅相談役出席

＊東大和稲門会

6月26日（日） 14時～ ビッグボックス東大和 小亀会長・當間副会長出席

☆本年度総会は11月20日（日）午後 サンプルネ・コンベンションホールで行います。

詳細は後日お知らせ致しますが、総会は会員皆様が全員顔を合わせる大切な会です。
今からは是非予定をいれておいて下さい。

☆三多摩支部大会は11月6日（日）です。

今年度は小金井・国分寺が幹事で11月6日（日）に早稲田実業学校で行われます。
こちらにも是非多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

☆狛江稲門会会長交代

狛江稲門会の宮澤晃平会長は9年間にわたり、おつとめになりました会長を退任し新会長に山田和則さん（S34教育）が就任しました。宮澤会長は狛江稲門会はもとより三多摩支部の発展にもご尽力なされました。東村山稲門会の雑学講座にもお出で頂きご講演を頂きました。退任後は相談役・事務局担当となります。ますますのご活躍をお祈り致します。

なお、狛江稲門会の事務局は下記の通り変更になりました

〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-2-3 宮澤晃平様気付
電話 03-3488-4456

☆8月6日（土）に納涼会開催！！

本年度は大震災のあと自粛ムードが高まり、東村山稲門会もお花見会を中止しましたが 最近、自粛、自粛であり内向きになっても日本経済にも良い影響を与えないとする認識が強くなってきました。そこで私達も震災の被災者の方々を思いながらも楽しい納涼会をやりたいと思います。早稲田祭実行委員会の学生と東村山市在住の新入生にも声をかけ手作りながらも皆さんで楽しいひとときを過ごしたいと思います。場所はサンプルネを予定しています。詳細は次号ニュースでお知らせ致しますが多くの皆様のご参加をお願いいたします。なお、この会の実行委員長には岡田一郎副会長をお願い致します。

訃報 当会会員朝木吾朗さん（75歳・S34商学）には5月9日逝去なされなされました。通夜は5月11日・告別式は12日ご実家の諏訪町「徳蔵寺」で行われました。心からご冥福をお祈り申しあげます。なお、会則により生花・並びに早稲田大学総長名の弔電を差し上げました。



ブータン旅行記

上 素子 (S40文)

このゴールデンウィークに「幸福の国」といわれるブータンへ行って来た。友人たちは「ブータン！いいねー」「憧れの国！」というが、「どこにある？」というのと正確にはほとんど誰も知らない。ヒマラヤ山脈の南面、中国チベットとインドに挟まれた九州ほどの国土に、佐賀県ほどの70万人の人が住んでいる。第4代国王がGNPをもじって提唱したといわれる、GNH（国民総幸福量）で近年世界的に有名になった国である。1週間の旅行で西部のごく一部をかすめただけだが、珍しかったことなど紹介してみよう。

■**王様** ブータンで最も有名で愛されているのは、王様のような。第5代国王は31歳にして独身、甘いマスクのハンサムな写真がホテルやレストラン、土産物屋の店先など、どこにでも掲げられている。オクスフォード大学からアメリカ、インドにも留学し、2008年に即位して4年目、名君といわれた先代国王に迫る人気だそうだ。

■**交通** 入国するにはタイかインドからブータン国営航空に乗り、唯一の国際空港パロに着く。国中が山岳地でここにやっと滑走路をつくるスペースが確保できたというが、4000m級の山々に囲まれた2200mの谷底にあり、パイロットにとっては世界一難しい空港だそうだ。鉄道や電車はなく、首都ティンブーへの幹線道路は片側2車線あるものの山道ばかりで制限速度は40kmである。首都にも信号がひとつもない。

■**衣服** 男性はゴ、女性はキラと呼ばれる民族衣装の着用が、公式の場所や通勤通学には義務づけられているというが、町でも村でも大半の人がこれを着ている。ゴは着物を帯でひざ丈までたくし上げているといったもので、胴回りの収納力が大きくパソコンまで入れている人があるとか。黒のハイソックスと革靴という組み合わせだが、みな足首がキュッと引き締まっているので、なかなかカッコ良い。キラは一枚の布を巻きつけて着る。普段着は手織り木綿で、縞柄や格子柄が多いが、繊細できらびやかな絹織物もある。

■**食事** 主食は米で、タイ米に似た細長い米や赤米がある。殺生禁止の国なので肉魚は冷凍物をインドから輸入している。野菜はこの季節豊富で、旬のアスパラガスが毎日食卓にのったのは嬉しかった。毎食出てくるのはエマ・ダツィという唐辛子とチーズを和えたもの。これが普段のおかずだそうで相当辛い。一度これも旬のゼンマイの入ったエマ・ダツィが出たが、これはなかなか美味しかった。ただし、総じて美味の国ではない。

■**住居** これも衣服と同様に、伝統様式が義務付けられており、凝った飾りとカラフルな彩色がされた家である。農家の1階は家畜小屋、2階が住まいで、豪華な仏間が必ずある。首都には伝統様式の木造4階建てアパートも多いが、そこにも必ず仏間があるそうだ。

■**GNH** 国民の75%が農業である。勤め人の就業時間は9～5時だが残業は一切しない。毎日30分の散歩と30分の瞑想、家族そろっての食事が人々の生活の中心で、仏教の教えからくる「命の質」が一番大事だという。年寄りも1日中でも寺で過ごして元気になる。平均寿命は80歳。これが、庶民のGNHの中身のようである。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ウォーキングの会

世話人 高橋 正夫

TEL 309-3407

第24回ウォーキング記 (3月26日)

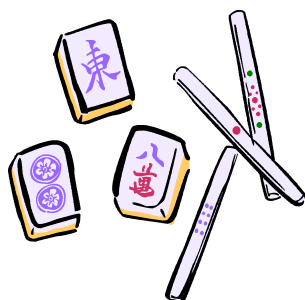


4月が近いとは思えないほど、冷たい風が肌寒く感じる日となりましたが、それでも快晴に恵まれて、国分寺崖線に沿って陽だまりを歩きました。最初は駅に近い、旧岩崎家所有だった都立殿ヶ谷戸庭園に立ち寄り、広い回遊式の庭園には既にかたくりの花も咲いていました。その後お鷹の道と呼ばれる湧水に沿って歩き、途中武蔵国分寺資料館ではガイドの説明を受けてから奈良時代、聖武天皇の創建になる国分寺跡と光明皇后によって建てられた国分寺尼寺跡をたどり、最後に広大な武蔵国分寺公園を經由して国分寺駅で解散しました。

参加者：青山・井出夫妻・小林・小亀夫妻・高橋夫妻・土橋・豊田・福田（敬称略）

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常尚 332-5621



第53回大会を3月27日に開催予定しておりましたが、3月11日に生じた東日本大震災に因り中止致しました。改めて第53回大会を下記の要領にて開催致します。久米川周辺の雀荘は土・日曜日の予約を受けないとのことですのでご不便とご足労をお掛けすることになりました。

記

日時 6月19日(日)
集合 12時10分
開始 12時30分
場所 三千院 TEL 042-326-5151
国分寺市南町3-18-8 第一中央ビル3F
国分寺駅南口より徒歩3分
会費 7,000円

大会出場予定雀士は12名で下記の通りです。(敬称略)
赤荻、阿部、石塚、小野、小亀、佐野、田口、土橋、中川、番場、三宅、青木(国分寺稲門会会員)
(体調には十分留意されてご参加下さい。)石塚征雄(S40政経)が初参加で、国分寺の青木壮司さんには大会の助人としてお願い致しましたが、松永さんにアレンジして頂きました。

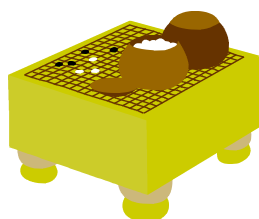
[注]

1. 昼食は麻雀店のサービスにて無料提供
2. 懇親会会場は丸藤
3. 三千院が初めての方は、改札出口でお待ちしております。
4. 西武国分寺線 東村山駅発 → 国分寺駅
11:45 11:56
11:54 12:05
12:05 12:16

(小野記)

囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336



●6月の「例会」を、下記の要領で開催します。囲碁を始めて間もない方も大歓迎です。お待ちしております。

日時 平成23年6月18日(土) 午後1時開始
場所 市民センター別館 第6会議室

○「第10回オール早稲田囲碁祭」が、6月4日(土)、囲碁の殿堂日本棋院(2階大ホール)で開催されます。1チーム5名の団体戦です。我が東村山稲門会からは、福田晃・鈴木・高鷲・野村・江藤の5名が出場予定です。結果については、次号の「ニュース」でご報告します。

音楽同好会 (稲穂会)

世話人 井手 巖 TEL 391-6443
高橋 文子 393-2676



4月24日(日)恩多ふれあいセンターにて、第26回例会を開きました。久々の開催でしたが、13名の参加者が、楽しく元気に、唱歌、外国曲、歌謡曲などを歌いました。

また今回は、原曲の歌詞がドイツ語で書かれた歌が3曲あり(「野ばら」はそれぞれゲーテの同一の詩に拠り、もう一曲は「故郷を離るる歌」)、どれも重原さんにドイツ語で読んでいただくとともに、原詩の翻訳を越えた、日本語の歌詞の素晴らしさ等についてお話しをしていただきました。

参加者(敬称略): 富塚、江藤、井手、重原、小亀夫妻、市川、三宅夫人、滝川夫妻、木谷夫妻、高橋

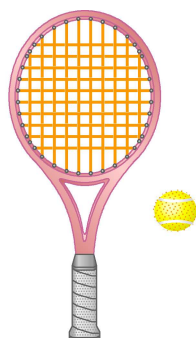
歌った曲: おお牧場はみどり、埴生の宿、荒城の月、鯉のぼり、背くらべ、朧月夜、野ばら(シュベルト、ウェルナー)、故郷を離るる歌、上を向いて歩こう、忘れな草をあなたに、川の流れるように

◎次回例会は、6月5日(日)午後2時より恩多ふれあいセンターにて開催しますが、あいにくこのニュース発行より早い開催となりました。様子は次号でお伝えします。

なお、7月の例会は23日(土)午後2時から恩多ふれあいセンター集会室にて開催します。8月の納涼会の余興に当同好会が歌う歌の練習を予定しています。納涼会でいっしょに歌ってみようという方はこの機会に是非ご参加ください。

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



5月は、例会の5月8日(日)、予備日の5月15日(日)両日共、9時から11時まで、運動公園のCコートで練習を行いました。休日のこととて、石塚さん、小菅さん、高橋さん、野村さんなどベテラン勢が参加、初夏とは云え、夏日となる陽射しの下、良い汗を流しました。

(参加者)(敬称略)

5月 8日: 石塚、市川(彰)、同夫人、井手、高橋(一)、滝来(京)、野村(茂)、福田(昇)、田島(以上9名)

5月15日: 石塚、市川(彰)、同夫人、小菅、高橋(一)、滝来(京)、野村(茂)、田島(以上8名)

〈今後の予定〉(前号のニュースとは、日時が変更となっています。)

6月19日(日) 9時~11時 運動公園 B

(予備日6月27日(月) 9時~11時 久米川コート 5番)

7月17日(日) 9時~11時 久米川 3番

(予備日7月25日(月) 9時~11時 久米川コート 5番)

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



5月例会を5月7日開催。常連に飛び入り参加、計11名の多数集まり大盛況。2時間では時間が足らず各自2曲しか歌えず物足りなさがありました。各自の歌を分析解明し内容の濃い一夜でした。

参加者は井手、井垣、滝川、高鷲、高部、南湖、内藤、の常連の他小亀、福田、安藤、岡田の各氏でした、大きく声を出し歌う事は健康にも大いにプラスになります多数の御参加をお待ち致します。

〈今後の予定〉

6月11日(土) 19:10 カラオケランド ズー

7月は恒例の新宿への移動カラオケ大会を開催します。芽ぐみから新たに(92、ナインツウ)を新規開店しております。

7月15日(金) 17:00~20:00 貸切

以上の予定で行います。

ご参加出来る方は世話人迄連絡願います。7月の東村山での開催はありませんので御了解願います。

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934



2011年前期ゴルフコンペ(第29回)20名の参加です。

6月10日(金)に西武園ゴルフ場で開催されます第29回東村山稲門会ゴルフコンペには、ここ数年では最多のメンバー5組19名が参加されることになりました。

参加予定者は青山稔、井垣和太、石川武、紅松容子、相馬信一、高部素行、田島隆夫、月森通夫、津野慶浩、内藤慎、鍋島高明、堀田秀夫、益田昂、山室勲、初登場の滝来洋二、山本岩男、ゲスト参加の月森章子、吉田誠子、登藤央子(内藤氏家族)、の皆さんです。フェアウェイもグリーンもすっかり夏景色となり、緑一色の舞台が待っています。あとは天気さえ良ければ言うことなしです。

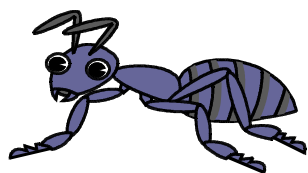
知っ得ゴルフ 10番ホール ―オーナー―

「エッ!私が最初?」スタートホールのじゃんけんオーナー以外、いつも4番の座を守ってるあなた。どうせOBか池ポチャだから、たまたま巡ってきたオーナーのチャンスもその場で元の打順に降格必至なの・・・。

「一度くらいオーナーの味を味わってみたいな～」なんて言う人もいますが、オーナー(HONOR)であって、オーナー(OWNER)ではありません。まさか海外のゴルフ場で言っていないでしょうね。

「I'm the owner of this hole.」てなことを。いつゴルフ場を買ったんですか。『This hole is not yours. It's mine. OKYAKUSAN!』

俳句同好会（稲酔会） 世話人 井垣 和 太 TEL 04-2924-2934



第56回は6月25日（土） 午後2時から「丸藤」で開催

第56回「稲酔」俳句会は6月25日（土）午後2時から、久米川駅前の「丸藤」2階の部屋で開催します。

これまでは、恩多てふれあいセンターで句会をした後、丸藤へ場所を移して懇親会を行っていましたが、丸藤の御協力を得て、同店2階の部屋で、通しで行うことになりました。

移動にかかる時間が節約出来て、句会をゆっくりと進める事でさらに充実した「稲酔」俳句会になるものと期待されます。どうぞ皆さんお出かけ下さい。新規加入大歓迎です。

兼題は《蟻》（あり）〔山蟻、蟻の道、蟻の門渡り、蟻の塔、蟻塚〕です。

蟻の道雲の峰よりつづきけん	一茶
睡蓮の乾きたる葉に蟻遊ぶ	虚子
蟻塚の土のこまかに梅雨上る	素子

（稲雀 記）

平成23年5月・6月度合同「お誕生会」報告



担当幹事： 滝川桜子 394-8187

5月、6月合同お誕生会は、お誕生該当者9名、共にお祝いをするために参加した役員等を含め、参加者27名で5月7日（土）午後5時過ぎからいつもの丸藤で行われた。「未曾有の震災の日から2ヶ月が過ぎ、自粛ムードからそれぞれが自分の生活を中心に頑張っていくことも日本の復興への大きな力となる」という認識に変わりつつあるので、東村山稲門会も活発に活動を開始して行きましょう」という小亀会長のご挨拶があり、當間副会長の乾杯の音頭でスタートした。しばらくの歓談後、会長からバースディプレゼントが手渡され、その後誕生日を迎えられた方々からスピーチを戴いた。

3月11日の地震は、東京にいてもただ事ではないものを感じたが、東北地方には地震から大津波を引き起こし、2か月たった今日もなお、被災者に精神的苦痛、生活の困窮という想定外の爪痕をもたらした。日本中が、原発問題、がれきの山などの被災地のニュースにはらはらしながら過ごさねばならない結果を引き起こした。被害者の方々の苦しみを共感しつつ毎日が過ぎている状況を反映して、スピーチの方は、まず震災の事についてのその体験、復興への気持ち等が最初に語られ、その後ご自分の今が話された。赤荻洋一さんは、ご自分の趣味を活かして、日本の鉄道に関して知りたい人が、わずかの知識でもインターネット検索すれば知ることができるようなものを作って行きたいと、鉄道史をまとめておいでになるとのこと。安藤さんは、東村山稲門会が発足する時誘いを受けたが、仕事が忙しかったので入会しなかった。今回入会したので、できるだけ活動に参加していきたいとご経歴や趣味として合唱団に参加してバリトンを担当している等の自己紹介をされた。市川彰彦さんは、ボランティアで地球市民クラブ日本語教室の委員長を引き受け、東村山で生活している外国人に日本語を教えている。またオカリナサークルでも活動して老人ホームなどを慰問して演奏活動をしているとオカリナで、埴生の宿を演奏して聴かせてくださった。一同その美しい澄んだ音色にしばし酔いしれた。風間和夫さんは、今回80歳になられる。若い頃80歳の人をかなりの老人だと思ったが、自分になってみるとまだ若いと感じる。昨年体調の異常が出て心配になり事務局長を引退したが、検査結果は異常ないことが判明したので、これからもできるだけ活動を支えていきたいと述べられた。田口政澄様も、時々年齢を感じる行動をしてしまう時もあるが、より健康に生活できることをご自分なりに心がけているのでお元気に過ごしているとお話をくださった。當摩照夫様は、まだ現役を維持していて、6月雑学講座で新しい技術有機ELについてというご講演をする事になっている。専門的な分野であるが、わかりやすいように話をするつもりだと語られたので、皆さま6月の雑学講座がますます楽しみになったようだった。吉田勝様は、息子のお嫁さんが早稲田卒の方となったので、またより早稲田と縁が深まった気がする。仕事を辞めたのでこれからは、ゴルフサークルでも参加していきたいとのことだった。森本吏様は、仕事をしているので他の行事は思うように参加できないが、誕生会だけはずっと出席していると、誉れというお酒を一升持参してくださった。お酒は他に小亀会長、當摩彰子副会長からもご寄付いただいた。

誕生者のスピーチの後は、しばらく和気あいあいと歓談が続いた。震災の後という共通の話題があったからか、誕生者の方々が、自己開示をなさり親しみをましたからか、いつもより楽しげに對話が弾んで、時間がたちまちすぎてしまった。

最後に東北地方の一日も早い復興を念じながら、全員でふるさとを合唱した後、井垣氏の音頭で東村山稲門会の歌と校歌を高らかに合唱してお誕生会は終わった。



「台地の農業と農家の暮らし」

江藤 昌明 (S27政経)

この文章は、江藤さんが、所属されている「東村山郷土研究会」の40周年記念誌に発表されたものです。昔の東村山の様子が紹介され興味深い内容です。(編集局)

①自然環境と農地

武蔵野の地域は、富士・箱根・浅間・榛名等、周囲をとりまく火山によって噴き上げられた火山灰が堆積されてできた、概ね赤土に覆われた広い台地である。台地の中央部分に島のように浮かんでいるのが狭山丘陵である。

東村山の大部分は穏やかな起伏の狭山丘陵を背にし、その南東に広がる海拔70米位の平坦な武蔵野台地である。この台地は地形から水が得がたいところなので、人々は北川の谷間の下宅部遺跡にみるように、そこに流れる川や湧水など水の得やすいところから開拓し集落を作り、水田を耕作して居住していた。

この地域の川は、北部に北川（後川）と前川があり、それが合流して二瀬川・柳瀬川となり、中部には空堀川が流れ、更に南東部には出水川がある。これらの川を利用した水田は、狭山丘陵の南側で北川（後川）に沿った宅部一帯と野口辺り及び柳瀬川に沿った秋津地区にあり、夫々の谷間で豊かな米作を行っていた。

しかし、北の谷間の水田作中心の村人達も、近世以降武蔵野を畑に開発しながら、狭山丘陵の南側一帯を急速に畑作中心の村に変えていき、集落の中心も畑の中に移っていった。

江戸時代に入ると江戸住民の増加に伴い、それらの人々の飲料水を確保するため、承応3年（1654）には玉川上水が開削され、当地域では特に許されて分水の野火止用水が引かれ、それを利用することができるようになった。野火止用水は水を求めて原野を畑地に開拓していった農民により恩多地区など新しい農村を作るに大いに役立った。

このようにして武蔵野台地の開発は急速に進み、かつての武蔵野の原野は次々に畑に変わり、水田作から畑作へと農業の形態を変え、更に農民たちは新田を開発し、そこに移住して畑作中心の純農村地帯を作っていた。用水に恵まれない農家は井戸を掘って水をまかかった。

②農家と農作業及び農産物

武蔵野の地域は、かなりの部分が雑木林であり、農家はそこの落葉や枯草、下草などを田畑の大切な肥料として用い、またその樹木、枯枝などは貴重な燃料として使った。

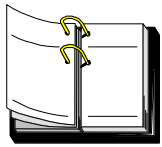
雑木林は、ほかに防風林としても大切であった。台地の地質の大部分は表面がさらさらした軽い赤土であったため、風が吹くと土ぼこりとなって舞い上がるので、農家は防風と防災を兼ねて敷地を屋敷林で囲って生活している者が多かった。

しかし、地質は赤土のみでなく、場所により真土（まつち）のところもあり、そこは雨が降るとぬかるみ、日照が続くと固くなる土であった。このように赤土又は真土のため、当然農家はその土地に適した作物を栽培した。地域の農耕地は殆ど畑であり、水田はごく僅かであった。畑からとれる穀物は陸稲（おかぼ）と呼ばれる米と大麦・小麦で、粟・稗なども不作のときが少なく、長期保存できるので凶作に備えて作られた。根菜・葉菜類は大根・人参・トマト・きゅうり・なす・ほうれんそう・ねぎなどを主に栽培した。

耕作機器は戦後機械化され便利になったが、戦前までは専ら鍬・鋤等の道具で、人力により田畑を耕しての農作業であったため、それに要する人の労働力は大変なものであった。

肥料も戦前は化学肥料をあまり使わず、雑木林の落葉や麦藁などで作った堆肥と人糞・鶏糞や灰などを主に使用した。人の糞尿も貴重な肥料であり、今では思い出の笑い話になってしまったが、都民の糞尿処理に困ったため、郊外にプールのような大きな肥溜（こえため）を造り、そこへ鉄道で運んできたときもあり、東村山にも造られた。農家は貴重な人糞として大いに利用したこともあった。たき火などの灰も肥料として使い、無駄にはしなかった。

(以下 次号に続く)



今月の行事（6月）

- 5日（日）音楽同好会
 10日（金）ゴルフ同好会
 11日（土）6月度役員会
 雑学講座
 カラオケ同好会
 18日（土）囲碁同好会
 19日（日）テニス同好会
 麻雀同好会
 25日（土）俳句同好会

7月（前半）の予定

- 9日（土）7月度役員会
 7・8月度合同お誕生会
 15日（金）カラオケ同好会



編集局だより

○東日本大震災から3ヶ月が経とうとしています。幸い地震当日は家にいたので、帰宅難民にもならず、その後もスーパーなどでの品不足に巻き込まれることもなく、どちらかと言えば平穩に過ごしてきました。もちろんその間、義援金を送り、支援物資も提供し、風評には惑わされず野菜も買うなど、自分に出来ることをしてきました。そしていま気になるのは夏の電力不足です。東京電力管内の電力需給予測も始まり、ますます節電意識が高まってきました。ピーク時の電力消費を抑えるための対策は様々ですが、まずはTVを省エネに買い換えることにしました。なぜTVかと言えば、地上波デジタル放送も始まるし、他に買い換えの対象となる家電がないからです。消費の拡大にもつながり、節電対策と併せてまさに一石二鳥。でももっと気になっているのはやはり原発に関する事です。福島第一原発の事故で故郷の浜松に近い浜岡原発のことも心配になりました。放射能汚染、被害は人ごとではありません。今は運転を停止していますが、再稼働を前提にしておりこの先も不透明です。私は脱原発で決まりです。これからも原発事故への対応を含めたエネルギー問題の行方を注視していくつもりです。

○次号の原稿締め切りは6月23日（木）です。よろしくお願いいたします。

（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

公園のゴミ拾う翁夏帽子
 守一の見詰めし蟻の小宇宙
 戸田 梟

（守一＝洋画家熊谷守一）

切り株の椅子の峠や風薫る
 降り染みて樺若葉の蘇る
 丸本 北窓

並びゐて若葉を競ふ桜かな
 釣人の見守る浮子や柿若葉
 八木 竜湖

鮎竿を橋の下瀬に差す日かな
 花みかん夜は消灯ふやします
 栗島 三郎

放射能いずこの空へ雲の峰
 節電の声に出番を待つ団扇
 井垣 稻雀

快心のショット夏空ひび割れて
 ひきがえる家主のごとく庭過ぎり
 出田 麦穂

薫風や十三回忌母笑まふ
 一斉に黄金の麦穂天めざす
 菊田 一平

ゴム印のゴムは群青花の雨
 地芝居の楽屋に届くたけのこ煮
 幸田 瑞雄

初蓆を含め煮にして酒友呼ぶ
 新緑の陸奥路に著き地震の跡
 小永井 哲哉

葉先まで滑りて天道虫翔べり
 「日比谷」出て若葉の風にうらえらる
 高部 糸行

日盛りや魚影落とす川の底
 袖まくる腕の白さや初夏の風